

教育フォーラム「不登校を防ぐ」

不登校・わいわいがつぶ却域による不登校の  
「やさしさとやる保護者たとの懇こい」物語

それじめたゆかわしけなことこの懇こいを大切に  
しての話を聞くこだわだこと懇こい。

「やさしさとやる保護者たとの懇こい」物語  
添ひし

【田 曲】2019年1月6日(土)午後  
2曲～4曲の公演

【会 場】わらわらげ (203、204 椅  
室)

【講 師】広木 祐行先生 (神戸大学教  
養教授)

【参加者】～3名

(前回のつづれ)だから「この人に会ってもわか  
ってられない、会っても返って来るのは何か正し  
いかな答えたから、私の極みを語しても何の意味  
はない」と感じてこの母親だけが外こりです。助  
けの出しある前に共感し合える関係が出来ない  
といふのが大女。それが苦しみながら見て苦しか  
でこの親だけを支へるとせむりのうじとかを考  
べるけれど、ひとつも大事なことがないと教えないま  
す。

このつづれもまたに表れた最初のシグナル、そ

のシグナルを子どもの問題と捉えたり、それで慌  
てる親だから「やるなりとをしてこなかいやもや  
がダメにならぬのじゃよ」などと、親をやめて離し  
詰めるやうなことを聞いた親たちは決して少な  
くあります。残念ながらそれは相談しなって  
いないこと題におす。やさしさの不登校の最初のシグ  
ナルは知つみの黙との壁がひとつされたシグナ  
ルです。やさしさの不登校体験を振り返しながら、あ  
るこなはい体験してこな人は自分を苦しみに重ね  
ながら、ひょとつたらいの不安が、いの迷いが

その次の一つに表れたシグナルは次の場面で  
行動に表れるシグナルです。行動に表れるシグナ  
ルの多くは暴力またはペーク、自傷的なペーク  
です。暴力は使者に向かう暴力と、自己に向か  
う暴力の二つがあります。使者に向かう暴力と  
いこあしたが、それ以外に向かう暴力とこつても  
ここのですが、ねじれの一つあります。対物暴力と  
対人暴力です。最初から人に暴力をふるひといつ  
のせあまり聞こたいとはあります。おもむです。  
障子を壊せたり、窓ガラスをねじたり、自  
分も痛こだらぬかど、壁を壁こりもつ拳固で突いて  
たりこじくしまくる。それが何が所もじわると親  
はこつたじ同事が起きてこなのだり、孫が壊され  
るのではなくかと懇のびりて深刻な事態にな  
ります。

やうやく家庭で暴力をふるひて金属バットで  
家の門を壊し始めた壇一の男のやうに余るこなけ  
たじがあります。やさしさのア盤がどれたと聞  
いお母やくに懇めたい、あなたの家を訪ねました。  
家の門のやうにせせりと形を崩ぬいてせこせん  
でした。ただ正常だったのやうにパンパンだ  
けじゅ。トレンチやパンコツがなこと時間を過じる  
のが難しこながたと懇こい。こんなにでも暴力  
をふるひこたへばれる壁の知しみに向だれいと  
思こながら先ほお母やくと語をしました。その下  
せじたじに腰あひ入つて横になつてこまつたが、  
下着たかだじこわいじつでした。お母やくが語下さい  
は「昨日自分が着たわのば、坊ねた田分が着たの  
で焼れてこながたれば全部燃やせ」と、庭にア  
ウム田のやうなものを置こい「田の中だ田着た

といつれました。自分が触れたものせいつひ  
とこなはいとこなはいの不登校、いの迷いが

で許せないことの気持ちを行動化して、彼は自分の苦しみを表していました。まさに深刻なケースでした。

が、この場合ひとつめのものは彼の反応を見ながら少し詳しく話を紹介をしました。彼は「話しても

した。このよじれ症候群の症状や行動をシグナルとしているが、子供への理解を深めつつ受け入れられる親として親自身が成長していく姿になれりもから自ら変わる力を引き出す最も確かな拠り所であることを私はこの家族からも教えて貰ったのです。（次回につづく）

大枝末」も聽いてやる所だった。信頼関係を築いたばかりのじわ。語つてこのへんに立派な飯の時間になりました。こしたうの由ゆゑに「お寿司の出前」でもござりますか。実は失ったゆのせ一つか置けないのです。それで回をつかねかねからひた。自

分を刺すかもしれないのに包丁も箸も置けない。

だたぶ眞理のたひは静かに立つてゐて、それ  
の左隣隣をひとしかなこひで。」と仰て、お秉向  
を送りつけてやつた。やまとひに彼は隠て血  
口知症の精神状態でむに倒たり、血盆口から嘔  
を加えかねない状態のやうひだ。やわらかなん  
をやめつけては出でてやうひだ。やがて

は正直に手を出してもなかつたので、私はその親子関係に込めた彼の想いに心酔つくりこのつかかにならぬのではなくてかと思つてみつた。お母さんに助けを求めるといし、お母さんが頼りだがそれをおこなへるといふことが出来なくて何ががおる。それがこの子が発するシグナルの一つの意味なのだと思います。

プライベシーの問題があのドリーリードの詳  
細は省略ますが、その後であの精神科医に連  
絡しては省略

## カツト（ヒメツルソバ）

次回の定例会は1月24日です。定例会は第四土曜日2時から4時。会場はひかりプラザの予定です。地域を問わずどなたでもご参加ください。参加無料、予約も連絡も不要です。

国分寺市不登校を考える親の会（さくら草の会）



ようになつていつた彼の変化を親の会で聞きたながら、それは間違ひなく親の会に参加して学び続け子供をとにかく受け入れ続けたお母さんの力なしには考えられない変化だと私は確信しま

事務局 石井ひろ子 042-502-7558（留守電にメツセージを入れてください。おりかえします。） わくわく草の会のホームページへようこそ。

<http://inomck.wixsite.com/sakurasounokai>